

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】 第 1 部門第 1 区分  
【発行日】 平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】 特表 2004-535185 (P2004-535185A)  
【公表日】 平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)  
【年通号数】 公開・登録公報 2004-046  
【出願番号】 特願 2003-500285 (P2003-500285)  
【国際特許分類】

|         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| C 1 2 N | 15/09   | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/7088 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/395  | (2006.01) |
| A 6 1 K | 48/00   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 1/16    | (2006.01) |
| A 6 1 P | 3/00    | (2006.01) |
| A 6 1 P | 3/04    | (2006.01) |
| A 6 1 P | 3/10    | (2006.01) |
| A 6 1 P | 7/00    | (2006.01) |
| A 6 1 P | 7/06    | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/00    | (2006.01) |
| A 6 1 P | 9/04    | (2006.01) |
| A 6 1 P | 11/02   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 11/06   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 17/06   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 19/02   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 19/08   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 19/10   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/00   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/04   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/16   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/28   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/32   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 29/00   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/00   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/04   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/12   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/14   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/18   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/20   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/22   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 33/00   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 33/02   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 35/00   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 35/02   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 37/00   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 37/02   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 37/06   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 37/08   | (2006.01) |
| A 6 1 P | 43/00   | (2006.01) |
| C 0 7 K | 14/47   | (2006.01) |

**C 0 7 K 16/18 (2006.01)**  
**C 0 7 K 19/00 (2006.01)**  
**C 1 2 N 1/15 (2006.01)**  
**C 1 2 N 1/19 (2006.01)**  
**C 1 2 N 1/21 (2006.01)**  
**C 1 2 P 21/02 (2006.01)**  
**C 1 2 Q 1/68 (2006.01)**  
**G 0 1 N 33/15 (2006.01)**  
**G 0 1 N 33/50 (2006.01)**  
**G 0 1 N 33/53 (2006.01)**  
**C 1 2 N 5/10 (2006.01)**  
**A 6 1 K 38/00 (2006.01)**  
**C 1 2 P 21/08 (2006.01)**

## 【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A  
 A 6 1 K 31/7088  
 A 6 1 K 39/395 N  
 A 6 1 K 48/00  
 A 6 1 P 1/16  
 A 6 1 P 3/00  
 A 6 1 P 3/04  
 A 6 1 P 3/10  
 A 6 1 P 7/00  
 A 6 1 P 7/06  
 A 6 1 P 9/00  
 A 6 1 P 9/04  
 A 6 1 P 11/02  
 A 6 1 P 11/06  
 A 6 1 P 17/06  
 A 6 1 P 19/02  
 A 6 1 P 19/08  
 A 6 1 P 19/10  
 A 6 1 P 25/00  
 A 6 1 P 25/04  
 A 6 1 P 25/16  
 A 6 1 P 25/28  
 A 6 1 P 25/32  
 A 6 1 P 29/00  
 A 6 1 P 29/00 1 0 1  
 A 6 1 P 31/00  
 A 6 1 P 31/04  
 A 6 1 P 31/12  
 A 6 1 P 31/14  
 A 6 1 P 31/18  
 A 6 1 P 31/20  
 A 6 1 P 31/22  
 A 6 1 P 33/00  
 A 6 1 P 33/02  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 35/02

|         |       |       |
|---------|-------|-------|
| A 6 1 P | 37/00 |       |
| A 6 1 P | 37/02 |       |
| A 6 1 P | 37/06 |       |
| A 6 1 P | 37/08 |       |
| A 6 1 P | 43/00 | 1 0 5 |
| C 0 7 K | 14/47 |       |
| C 0 7 K | 16/18 |       |
| C 0 7 K | 19/00 |       |
| C 1 2 N | 1/15  |       |
| C 1 2 N | 1/19  |       |
| C 1 2 N | 1/21  |       |
| C 1 2 P | 21/02 | C     |
| C 1 2 Q | 1/68  | A     |
| G 0 1 N | 33/15 | Z     |
| G 0 1 N | 33/50 | Z     |
| G 0 1 N | 33/53 | D     |
| G 0 1 N | 33/53 | M     |
| C 1 2 N | 5/00  | A     |
| A 6 1 K | 37/02 |       |
| C 1 2 P | 21/08 |       |

## 【手続補正書】

【提出日】平成17年5月23日(2005.5.23)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

H A Mポリペプチドを含んでなる実質的に精製されたポリペプチドであって、H A Mポリペプチドが、配列番号2または19に示す配列に、少なくとも80%同一である、前記ポリペプチド。

【請求項2】

H A Mポリペプチドが、配列番号2または19に示す配列に、少なくとも90%同一である、請求項1の実質的に精製されたポリペプチド。

【請求項3】

H A Mポリペプチドが、配列番号2または19に示す配列を有する、請求項1の実質的に精製されたポリペプチド。

【請求項4】

配列が、配列番号2のほぼアミノ酸61～1379または配列番号19のほぼアミノ酸60～1376を含んでなる、請求項1の実質的に精製されたポリペプチド。

【請求項5】

配列が、配列番号2のほぼアミノ酸61～1230もしくはその断片、または配列番号19のほぼアミノ酸60～1227もしくはその断片を含んでなる、請求項1の実質的に精製されたポリペプチド。

【請求項6】

H A Mポリペプチドを含んでなる実質的に精製されたポリペプチドであって、H A Mポリペプチドが、配列番号2のほぼアミノ酸61～1230、または配列番号19のほぼアミノ酸60～1227に示す配列に、少なくとも80%同一であり、そして該H A Mポリ

ペプチドがHAMポリペプチド活性を有する、前記ポリペプチド。

【請求項 7】

配列が、配列番号 2 のほばアミノ酸 61～1230、または配列番号 19 のほばアミノ酸 60～1227 に示す配列に、少なくとも 90% 同一である、請求項 6 の実質的に精製されたポリペプチド。

【請求項 8】

配列番号 2 のほばアミノ酸 61～1230 または配列番号 19 のほばアミノ酸 60～1227 に示すアミノ酸配列を含んでなる、実質的に純粋なポリペプチド。

【請求項 9】

第二のポリペプチドに機能可能であるように連結された第一のポリペプチドを含んでなる融合ポリペプチドであって、第一のポリペプチドが：

(i) 配列番号 2 のほばアミノ酸 61～1230 に示す配列を有するポリペプチド；

(i i) 配列番号 19 のほばアミノ酸 60～1227 に示す配列を有するポリペプチド；

(i i i) 配列番号 2 のほばアミノ酸 61～1379 に示す配列を有するポリペプチド；および

(i v) 配列番号 19 のほばアミノ酸 60～1376 に示す配列を有するポリペプチド；

からなる群より選択される、前記融合ポリペプチド。

【請求項 10】

第二のポリペプチドがFcポリペプチドである、請求項 9 の融合ポリペプチド。

【請求項 11】

第二のポリペプチドがロイシンジッパーポリペプチドである、請求項 9 の融合ポリペプチド。

【請求項 12】

第一のポリペプチドおよび第二のポリペプチドを分離し、そして第一のポリペプチドおよび第二のポリペプチドに機能可能であるように連結されているリンカーポリペプチドを含んでなる、請求項 9 の融合ポリペプチド。

【請求項 13】

請求項 1 ないし 12 のいずれか 1 項に記載のポリペプチドをコードする、単離ポリヌクレオチド。

【請求項 14】

a) 配列番号 1 または 18；

b) T がまた U であることも可能である、配列番号 1 または 18；および

c) 配列番号 1 または 18 に相補的な配列；

からなる群より選択される配列を含んでなる、単離ポリヌクレオチド。

【請求項 15】

a) 配列番号 1 のほばヌクレオチド 181～4137；

b) 配列番号 1 のほばヌクレオチド 181～3690；

c) 配列番号 18 のほばヌクレオチド 178～4128；

d) 配列番号 18 のほばヌクレオチド 178～3681；

e) a)、b)、c)、および d) に相補的な配列；並びに

f) T がまた U であることも可能である、a)、b)、c)、または d) のいずれかからなる群より選択される配列を含んでなる、単離ポリヌクレオチド。

【請求項 16】

請求項 14 または 15 のポリヌクレオチドを含んでなるベクター。

【請求項 17】

ベクターがプラスミドである、請求項 16 のベクター。

【請求項 18】

ベクターがウイルスベクターである、請求項 16 のベクター。

## 【請求項 19】

請求項 16 ないし 18 のいずれか 1 項に記載のベクターを含有する宿主細胞。

## 【請求項 20】

異種制御配列の調節下の、請求項 14 または 15 のポリヌクレオチドを含んでなる、組換え宿主細胞。

## 【請求項 21】

細胞が原核である、請求項 20 の宿主細胞。

## 【請求項 22】

細胞が真核である、請求項 20 の宿主細胞。

## 【請求項 23】

ポリペプチドの発現を促進する条件下で、請求項 20 の宿主細胞を培養することを含んでなる、ポリペプチド産生法。

## 【請求項 24】

ポリペプチドの発現を促進する条件下で、請求項 20 の宿主細胞を培養することによって産生されたポリペプチド。

## 【請求項 25】

配列番号 2 または 18 に示す配列からなるポリペプチドに特異的に結合する、精製抗体。

## 【請求項 26】

モノクローナル抗体である、請求項 25 の抗体。

## 【請求項 27】

ヒトまたはヒト化 (humanized) 抗体である、請求項 25 の抗体。

## 【請求項 28】

請求項 25 ないし 27 のいずれか 1 項に記載の抗体または：

- (a) 配列番号 2 のアミノ酸 61～1379；
- (b) 配列番号 2 のアミノ酸 61～1230；
- (c) 配列番号 18 のアミノ酸 60～1376；および
- (d) 配列番号 18 のアミノ酸 60～1227；

からなる群より選択されるアミノ酸配列を含んでなるポリペプチド、並びに薬学的キャリアー、賦形剤または希釈剤を含んでなる、医薬組成物。

## 【請求項 29】

配列番号 1 または 18 に示す配列を含んでなるポリヌクレオチドの発現を変調する剤を同定する方法であって、該ポリヌクレオチドを含有する試料を試験剤と接触させ、そして対照に比較したポリヌクレオチドの発現を測定する、ここで対照に比較した発現の変化が、ポリヌクレオチドの発現を変調する剤の示標となることを含んでなる、前記方法。

## 【請求項 30】

剤がポリペプチド、ペプチド、ペプチド擬似体 (peptidomimetic)、核酸、および小分子からなる群より選択される、請求項 29 の方法。

## 【請求項 31】

試料が被験者由来の生物学的試料である、請求項 29 の方法。

## 【請求項 32】

試料が細胞を含んでなる、請求項 29 の方法。

## 【請求項 33】

発現の変化が発現の増加である、請求項 29 の方法。

## 【請求項 34】

測定が PCR またはノーザンブロットによる、請求項 29 の方法。

## 【請求項 35】

測定が、ポリヌクレオチドに発現されるポリペプチドを検出することによる、請求項 29 の方法。

## 【請求項 36】

配列番号 2 または 19 に示す配列を含んでなるポリペプチドの活性を変調する剤を同定する方法であって、該ポリペプチドを含有する試料を試験剤と接触させ、そして対照と比較したポリペプチドの活性を測定する、ここで対照と比較した活性の変化が、ポリペプチドの活性を変調する剤の示標となることを含んでなる、前記方法。

【請求項 37】

剤がポリペプチド、ペプチド、ペプチド擬似体、核酸、および小分子からなる群より選択される、請求項 36 の方法。

【請求項 38】

試料が被験者由来の生物学的試料である、請求項 36 の方法。

【請求項 39】

試料が細胞を含んでなる、請求項 36 の方法。

【請求項 40】

活性の変化が活性の増加である、請求項 36 の方法。

【請求項 41】

測定が、試料中のポリペプチド量を定量化することによる、請求項 36 の方法。

【請求項 42】

HAM ポリペプチド、HAM ポリヌクレオチド、または HAM ポリペプチドに特異的に結合する抗体を含んでなる、HAM 関連障害または疾患を治療するための医薬組成物。

【請求項 43】

HAM 関連障害が、リウマチ学的障害、骨髄または固形臓器移植障害、移植片対宿主障害、炎症性障害、自己免疫障害、神経学的障害、髄鞘形成障害、細胞増殖障害、感染、心臓血管障害、血液学的障害、肝臓障害、代謝障害、体重障害、および骨障害からなる群より選択される、請求項 42 に記載の医薬組成物。

【請求項 44】

HAM ポリペプチドが、配列番号 2 または 19 に示す配列を有する、請求項 42 に記載の医薬組成物。

【請求項 45】

HAM ポリペプチドが、配列番号 2 のほぼアミノ酸 61～1230 に示す配列、または配列番号 19 のほぼアミノ酸 60～1227 に示す配列を有する、請求項 42 に記載の医薬組成物。

【請求項 46】

HAM ポリヌクレオチドが、配列番号 1 または 18 に示す配列を有する、請求項 42 に記載の医薬組成物。

【請求項 47】

哺乳動物に適用する、請求項 42 ないし 46 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。